

# 令和4年度和歌山県文化奨励賞

てらした まりこ  
寺下 真理子

住 所 東京都港区  
出身地 和歌山県和歌山市  
生 年 昭和57年

## ◎ 業績及び経歴

昭和57年和歌山市に生まれる。5歳からヴァイオリンを始め、五嶋みどり氏の演奏に感銘を受けプロのヴァイオリン奏者になることを決意。練習を重ね11歳の時に第1回五嶋みどりレクチャーコンサートに出演する。平成9年第2回宮崎国際音楽祭で故アイザック・スターン氏から薫陶を受ける。その後、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校へ進学し、同大学音楽学部器楽科弦楽専攻を卒業。卒業後に渡欧し、ブリュッセル王立音楽院修士課程を修了する。

平成16年第2回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位（ヴァイオリン最高位）を受賞。小澤征爾氏主宰のサイトウキネン室内楽勉強会、マルタ・アルゲリッチ氏が総監督を務める別府アルゲリッチ音楽祭に参加。東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等との共演を果たす。

平成27年、同30年、令和元年には台湾公演を開催し成功を収めたほか、氏がリリースしたアルバムCD「ROMANCE」は韓国でも大変な人気を博すなど、その活躍は日本に留まらない。

近年は、朗読や和楽器とクラシック音楽とのコラボレーションによるコンサートの開催など、新たな取組を積極的に展開。「紀の国わかやま文化祭2021」の開会式や「きのくに音楽祭」での演奏など、故郷和歌山での演奏活動も精力的に行っている。

令和3年から日本ヴァイオリンよりストラディバリウスの貸与を受ける。また、同年より本県の学生を対象とした無料応募制コンサート「Home of Spirits」を主宰。「子供達に夢を」をコンセプトに、子供達が一流の若手奏者の生演奏に触れる貴重な機会を創出している。

高度な演奏技術と美しい音色に加え華やかさも持ち合わせた天性のソリストとしての資質と、確たる信念を持ち合わせる氏は、本県の芸術文化振興の担い手として、今後より一層の活躍が期待される。

## ■ 現 在

・ヴァイオリン奏者

## ◆ 主な表彰歴等

平成8年 第50回全日本学生音楽コンクール中学生の部大阪大会第2位  
平成16年 第2回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位  
平成26年 大桑文化奨励賞  
平成29年 和歌山市文化奨励賞